

高岡市民病院第Ⅴ期中期経営計画改訂版～公立病院経営強化プラン～概要

1 改訂の経緯

当院では、令和2年度末に、中期的な高岡市民病院の目指すべき将来像を明確化し、その実現に向けた具体策について定めた高岡市民病院第Ⅴ期中期経営計画を策定した。

その後、令和3年度末、総務省から「持続可能な地域医療体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）が示され、地方公共団体は公立病院経営強化プランを策定することとされた。

また、現計画の策定から2年が経過し、当院の診療体制が変化するとともにコロナ禍を経て患者動向も変化している。こうしたことから、第Ⅴ期中期経営計画についてガイドライン及び近年の状況を踏まえ改訂するもの。

2 計画期間の延長

ガイドラインで示す計画期間に延長
改訂前 R3～R7 → 改訂後 R3～R9

3 当院の果たすべき役割・機能

当院は、救急医療において高岡医療圏の二次救急輪番病院として医療圏で2番目に多くの救急車を受け入れているほか、医療圏における疾患別シェアでは多くの疾患で1、2番手のシェアを有し、地域医療の担い手として重要な位置にあることから、引き続き急性期病院として地域の基幹病院の役割を果たしていくことを基本とする。併せて地域医療機関等との連携を進め、地域包括ケアシステム構築における医療分野での牽引役を務めるほか、公立病院として民間医療機関では限界のある政策的医療（精神・感染症・結核等）を担っていく。

4 病床数・病床機能

地域医療構想における将来の機能別の病床の必要量などを踏まえ、令和4年度に急性期病床を28床減床した。

さらに、高齢化の進展への対応と地域医療構想のさらなる推進のため、急性期病棟の一部を回復期病棟（地域包括ケア病棟）へ転換する。また、再編に合わせHCU以外の高度急性期を急性期に、緩和ケアを回復期に見直す。精神病床については、個室を要する患者の増加に対応していくため、多床室の個室化を進めることとする。

機能別病床数

病床種別	高度急性期	急性期	回復期	その他	計
令和3年	74	259	0	68	401
令和6年度中	21※1	228	56※2	68	373

※1 HCU ※2 うち緩和ケア20床、地域包括ケア36床

5 改訂版の主な取組み（※ガイドラインの示す公立病院経営強化プランの項目に沿って記載）

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- N 地域包括ケア病棟の設置
- N 在宅医療（訪問看護）の拡充
- N アイセンターの設置
- N 精神病棟の個室増
- 産後ケアの実施

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- 医師の大学医局等への継続的な派遣要請
- N ICTの活用
- 看護師の確保

(3) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- N 感染拡大時に活用する病床の設定
- 専門人材の確保・育成
- N 感染防護具等の備蓄
- 院内感染対策の徹底

(4) 施設・設備の最適化

- デジタル化・DXの取組
- ・N 利便性向上や効率化に係るシステム等の整備
- ・マイナンバーカードの保険証利用、N 電子処方箋等への対応
- ・サイバーセキュリティ対策

(5) 経営の効率化等

- 医業収益の確保
- ・N 強みを生かした診療体制による患者の確保
- 医業費用の削減
- ・省エネルギーを意識した改修
- ・適正な規模の病床数の検討

第V期中期経営計画改訂版の事業計画

計画の実行にあたって以下の3つに取り組む（改訂前と同様）

(1) 医療の質の向上

(2) 経営の安定

(3) チーム医療の推進とワークライフバランスの推進

太字：改訂に当たって追加・変更した主要な箇所 N：新規事業

取組み	施策	具体的な事業
<p>(1)医療の質の向上</p> <p>①急性期・高度医療の充実、政策的医療の堅持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○急性期医療の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・救急・集中医療体制の維持 ・高度医療機器の更新と更なる活用 	HCUへ転換 (R3) MRI更新 (R4) 骨塩定量測定装置更新 (R5) ダヴィンチ領域拡大 (R4：外科・直腸)
	<ul style="list-style-type: none"> ○拠点病院としての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療拠点病院としての診療の質の向上 ・医師・看護師等の派遣 ・災害拠点病院としての機能向上 	他の医療機関へ医師を派遣 （医師以外の医療従事者についても要請があれば院内の医療体制を踏まえて対応）
	<ul style="list-style-type: none"> ○特長ある診療の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・5疾病への対策強化 ・診療体制の強化 	緩和ケア専門医配置 (R3) 緩和ケア内科の開設 (R4) N アイセンターの設置 N 精神科病棟の個室増 (R5～R6)
	<ul style="list-style-type: none"> ○政策的医療の堅持 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に対する医療圏内での中核的な役割の遂行 ・新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組 ・精神・認知症疾患への体制充実 	新型コロナウイルス対応 (R2～) 感染症内科の開設 (R4) 新興感染症に備えた取組 N 感染拡大時に活用する病床の設定 各医療機関との連携 専門人材の確保・育成 N 感染防護具等の備蓄 院内感染対策の徹底 精神科患者の訪問看護 (R4～) N 精神科病棟の個室増 (R5～R6) (再掲)

取組み	施策	具体的な事業
<p>(1)医療の質の向上</p> <p>②安全・安心・納得の医療提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○医療情報提供、医療相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・根拠に基づく医療の実践 ・インフォームドコンセントの徹底、心のこもった接遇 ・診療情報の提供 ・患者サポート体制の充実 	<p>各診療科の情報のHP発信 がん相談支援センター 患者支援センター</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼される病院づくり <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全体制の維持・強化 ・個人情報の保護 ・利便性の向上 ・住民の理解のための取組 	<p>病院機能評価認定更新（R5受審） 自動精算機キャッシュレス化（R3） 病院情報システム更新（R4～5） 患者向けWi-Fi整備（R5） N スマホによる後払い会計や診察待ち通知システムの導入</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○医療スタッフの確保・資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの確保・資格取得支援 	<p>特定行為看護師、認定看護師の育成</p>
<p>(1)医療の質の向上</p> <p>③地域に根差した医療の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の医療機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・紹介・逆紹介の推進 ・地域連携クリニカルパスの活用 ・専門的医療を活かした地域への支援の推進 ・在宅医療 ・病院・診療所間での医療情報共有等の連携体制の構築 ・オープンベッド・医療機器共同利用の促進 	<p>地域連携クリニカルパスの推進 N 地域包括ケア病棟の設置 訪問看護体制拡充（R5） N 訪問看護を介護分野へ拡大 産後ケアの実施 多職種連携システムの活用（市内診療所や地域包括支援センターなどとの連携推進） N 将来的な訪問診療の検討</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○予防医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・院外健康教室・出前講座の実施 ・予防医療体制の充実 	<p>院外健康教室 出前講座 各種検診の実施</p>

取組み	施策	具体的な事業
(2)経営の安定	<ul style="list-style-type: none"> ○医業収益の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な救急・紹介患者の受入 ・患者獲得に向けた広報力の強化 ・医療機能向上につながる高度医療機器の更新 ・経営の安定に必要なスキルを有する職員の育成 ・強みを生かした診療体制による患者の確保 	<p>HPのスマホ対応 (R3) ふれあい健康フェスティバルの開催(R4再開) MRI更新 (R4) N 地域包括ケア病棟の設置 (再掲) N 訪問看護の拡充 (再掲) N アイセンターの設置 (再掲)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○医業費用の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品・医療材料の効率的運用 ・施設・設備の適正管理と整備費の抑制 	<p>バイオシミラーの推進 共同購入を活用した調達による低コスト化 省エネを踏まえた修繕・改修の実施</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化・DXの取組 ・情報の分析と積極的活用 	<p>患者向けWi-Fi整備 (R5) N スマホによる後払い会計や診察待ち通知 (再掲) N 電子処方箋への対応 サイバーセキュリティへの対応</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な病院経営のための病床数の適正化 	<p>適正な病床数の検討</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○一般会計繰入金の適正化の維持 	
(3)チーム医療の推進とワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携による専門性を活かした積極的な医療資源の投入 	<p>認定看護師の育成 薬剤・栄養指導の強化</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○医師・看護師等の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・多職種職員の専従配置等病院機能強化に必要な人員の確保・育成 ・看護師の確保 ・院内保育所の開設 ・臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保 	<p>院内保育所開設 (R4) 医学生向け病院合同説明会への参加 魅力ある研修プログラムの充実 大学医局との連携強化</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○医師の働き方改革への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な労務管理の推進 ・タスクシフト/シェア ・ICTの活用 ・地域の医師会や診療所との連携 	<p>タスクシフト対応研修受講推進 (R4～) 特定行為看護師の育成 N 働き方改革に資するICTの導入 (勤怠管理システム、意思決定支援システム、モバイル端末による病棟業務の効率化、バイタルサイン自動読取機能の導入、チャットツールの活用) 多職種連携システムの活用 (再掲)</p>